

8/05(土)の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:20時半、月齢:19、月の出:21時、☞ **【観望最良時間帯:20:00~20:30】**

(1)天の川・・・街灯りの影響が少ない、山の上まで登った方へだけのごほうび！

まだ日没が遅いのと大きな月が昇ってくる影響で、短い時間(30分間位)にはなりますが天の川をお楽しみいただけます。

※この日は、昼光が落ちてく20:00から月が出る20:30ころまでがチャンスです。

(2)夏の大三角・・・東の空高く輝く、3ヶの明るい星が見つかります。

これを結ぶと、大きな直角(に近い)三角形が見えて来ます。これが有名な**夏の大三角**！天頂近くで輝いているのが七夕の**おり姫星**、少し南よりの低い所で輝いているのが**ひこ星**、この二つの星と、**はくちょう座**の一等星**デネブ**を結んでできる三角形です。

※**おり姫**と**ひこ星**の間には“**天の川**”が流れています。

うすい雲のように見えるのが**天の川**で南の空の**さそり座**の尾の辺りから立ち昇っています。

(3)春から夏を代表する明るい星々が楽しめます・・・(裏面の星図を参照ください)

春の大曲線：学校でならった**北斗七星**から春の星座を探します。

また、**北斗七星**から北の方角をしらべ、星の1日・1年の動きを 復習！

春の大三角：おとめ座スピカ・うしかい座アークトゥルス・しし座デネボラ

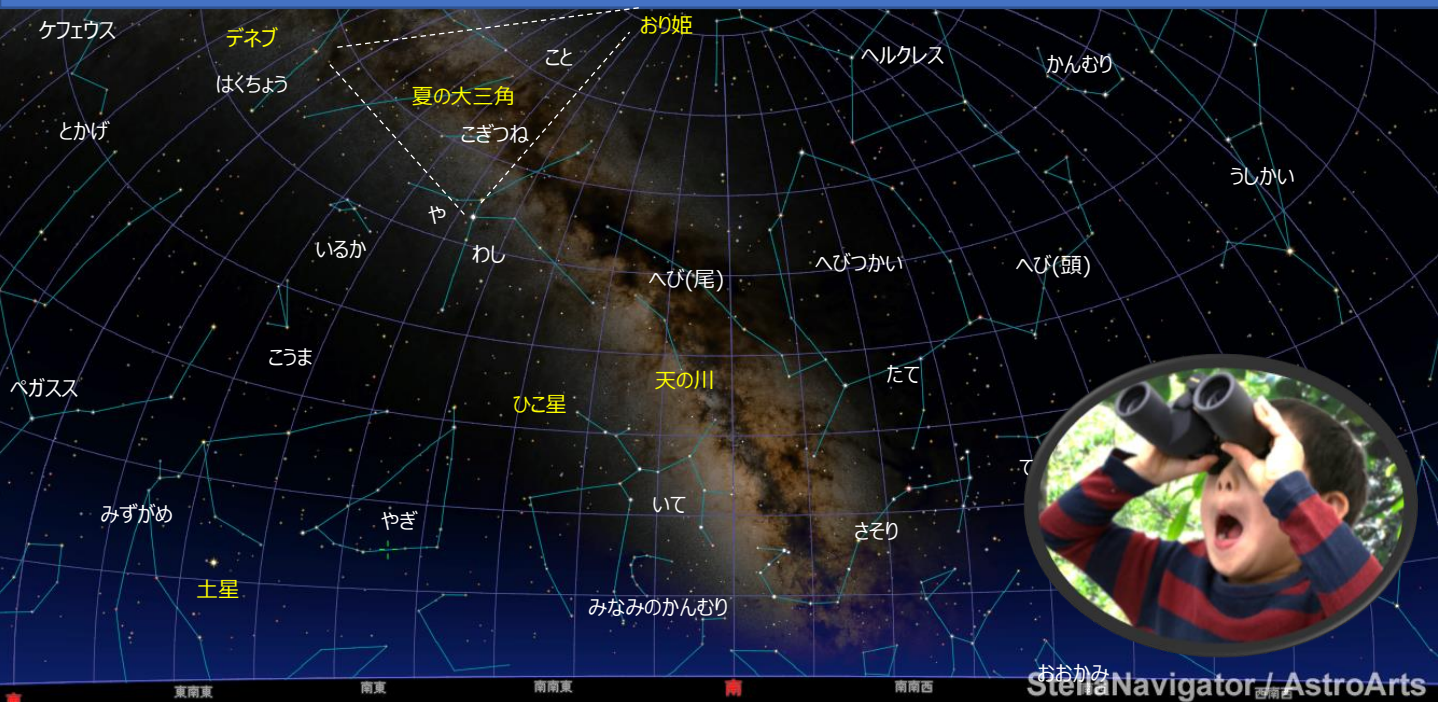
夏の大三角：こと座べが・わし座アルタイル・はくちょう座デネブ

夏の星座：さそり座アンタレス、北の空：北斗七星・北極星

19:30~この日に見える星々や楽しみ方をプロジェクターでご案内します。

20:00~暗くなるのを待って、星空ガイドをスタートします。

一等星の、明るさくらべや色の違い、特徴などをご案内します。



8/11~14の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:20時、月齢:25、月の影響はありません ☺ 【20:00以降は最良環境となります！】

(1) 流れ星が最も多く観られる期間・・・8/13ペルセウス座の流星群極大～17:00頃

毎年話題となるペルセウス座流星群、今年は月の影響無く、極大日は13日となりますが、お盆期間中の星空観望は「おーっ！」と声があがり・・・楽しめそうです。

(2) 定番！おり姫星とひこ星！「夏の大三角」・・・天の川から探してみよう！

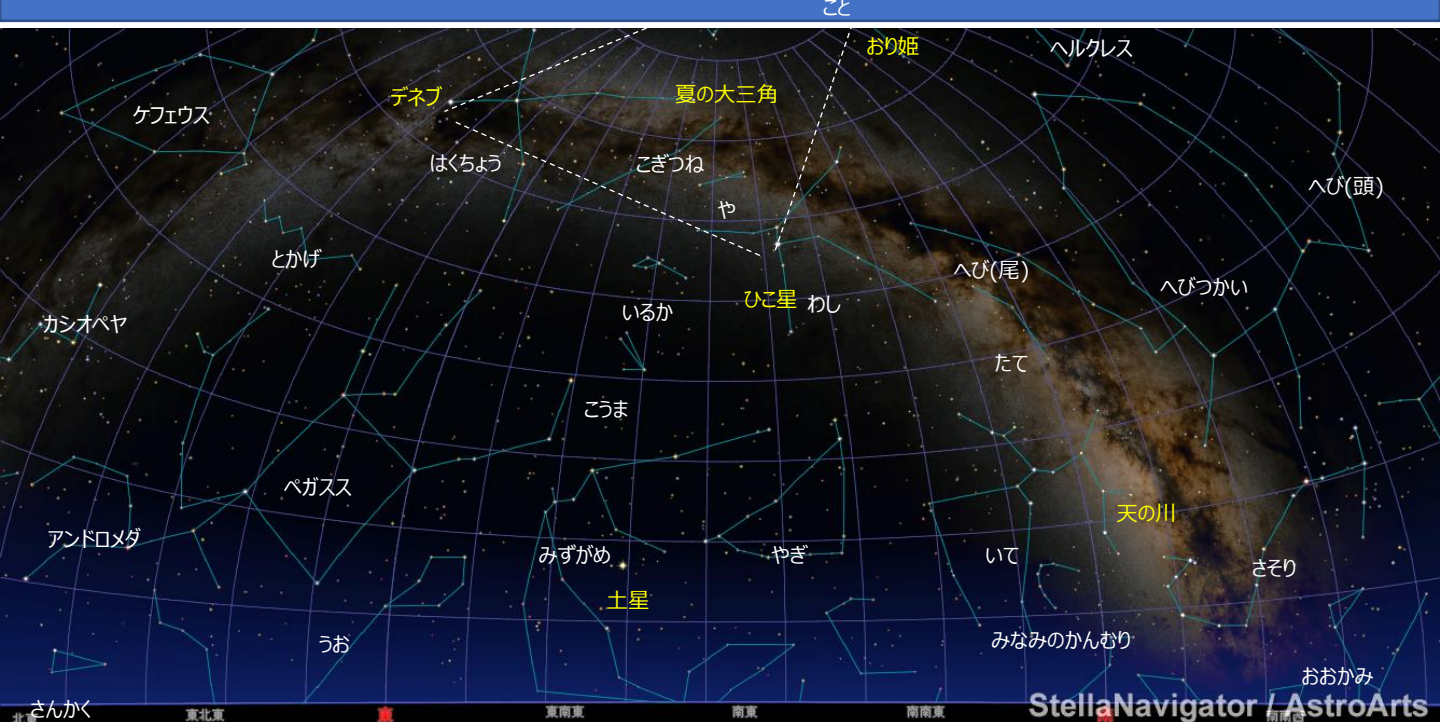
今年のお盆=4日間は、この夏の最も良い条件での星空観望になります。天頂近くで輝いているのが七夕のおり姫星、少し南よりの低い所で輝いているのがひこ星、この二つの星と、はくちょう座の一等星デネブを結んでできる三角形です。おり姫とひこ星の間には“天の川”が流れています。うすい雲のように見えるのが天の川で南の空のさそり座の尾の辺りから立ち昇っています。

(3) 天の川・・・ちょっと感動もの！ 今年この日程ならではの「天の川クルーズ」

20:00を過ぎると、昼光がなくなり空が真っ暗になって来ます。芝生の上に寝転んで、真上のはくちょう座辺りを双眼鏡で観ると「ウォーっ！」と声が出ます。うすい雲のように見えていた天の川の正体が無数の星々であることが判ります。双眼鏡をお貸ししていますので、是非ご覧になって下さい。

19:30～この日に見える星々や楽しみ方をプロジェクターでご案内します。

20:00～暗くなるのを待って、星空ガイドをスタートします。



8/19(土)の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:20時、月齢:03、月の入:20時、☞ **【観望最良時間帯:20:00~All Night】**

(1)天の川・・・街の灯かりの少ない、山の上まで昇っていただいた方へのご褒美！

8/19(土)の月齢は3.0、月は20時には西に沈み天の川がなんとなく見えて来ます。南西の空、**さそり座の尾の辺りから立ち昇る天の川**が20:30頃には見事に浮びあがって、天頂近くに昇った夏の大三角へ向かい、はくちょう座から北の空に流れます。

- * 月の無い夜、双眼鏡でみると、天の川は小さな星の集まり！本当にキレイです！！
- * また、天の川の中心方向にあたるいて座方向をみると、たくさんの星の集まりもみえます。

(2)土星・・・8/28に地球に最も近づきます。

今年の土星はみずがめ座にあって、ようやく見える位置まで昇って来ました。

- * 東の空の状態が良ければ、望遠鏡で土星の環を観察していただけるかも知れません。

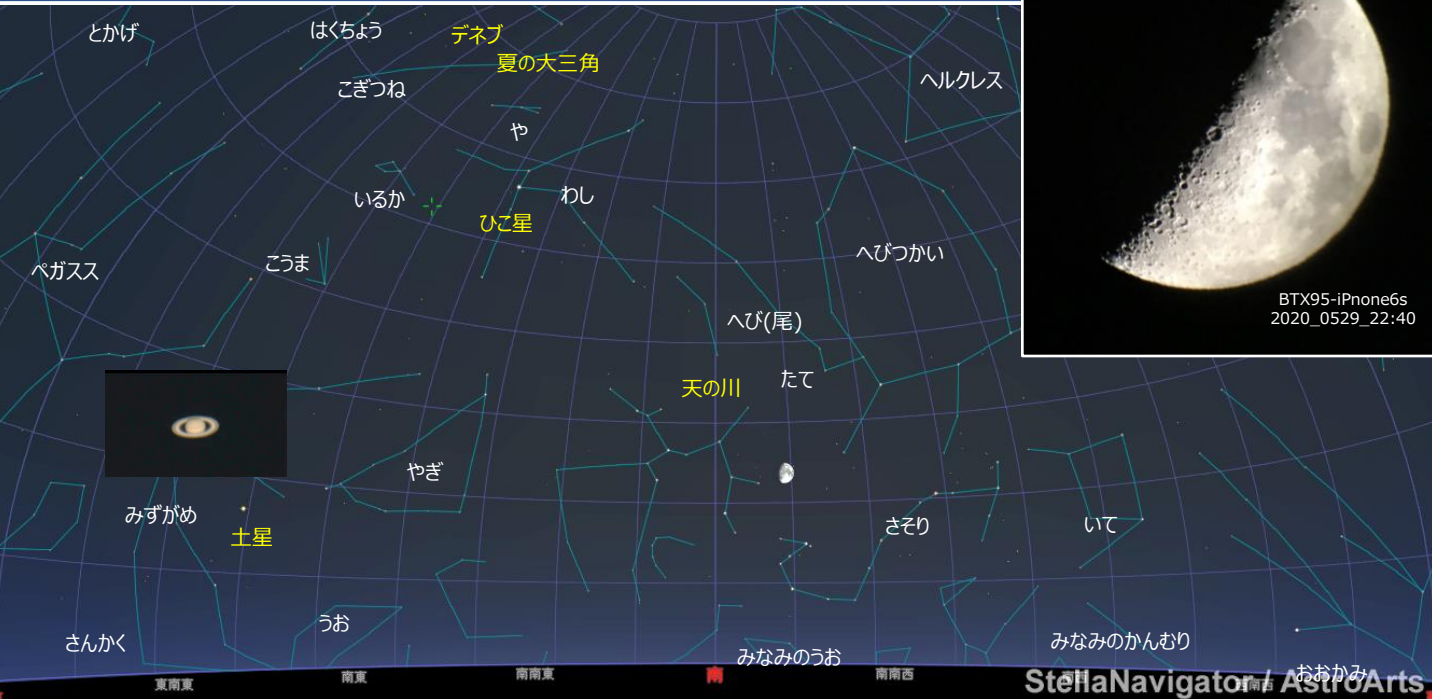
(3)夜空を彩る個性的な夏の一等星・・・月の無い暗天では、星々の色合いが際立ちます。

宝石屋さんでキラキラ商品を魅せる時は、黒のベルベットの上に並べます。この日の空は(雲や霧が無ければ・・・)、同様に星々を魅力的に輝かせます。ほぼ同じ明るさの、おり姫(こと座のベガ)と、うしかい座のアルクトゥルスは、色の違いで大分印象が変わります。

※2023年、夏の思い出に、是非お出かけ下さい。

19:30~この日に見える星々や楽しみ方をプロジェクターでご案内します。

20:00~暗くなるのを待って、星空ガイドをスタートします。



BTX95-iPhone6s
2020_0529_22:40

8/26(土)の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:20時、月齢:10(上弦+2日)、☾ 【今夜は月を楽しむ夜になります。】

(1)月のクレーター・・・月の観察が一番おもしろいのは半月！

8/26(土)の月齢は10(少し太めの半月)で、南の空で西に沈んだ太陽に照らされています。太陽の光を浴びている部分と陰になっている部分の境目辺りのクレーター(凸凹)が浮き上がって見えます。(この凸凹は満月の時にはみえません！)

19:30~の星空解説の時間に、月の満ち欠けについてもご案内する予定です。
20:00~の星空ガイドの時間に、望遠鏡を使ってご覧いただけます。

(2)夏の三角形と春の三角形・・・夏の空に輝く一等星をさがします。

月に背を向けると、南東の空高く夏の三角形が昇っています。天頂近くで輝いているのが七夕のおり姫星、少し南よりの低い所で輝いているのがひこ星、この二つの星とはくちょう座の一等星デネブを結んでできるのが**“夏の三角形”**です。おり姫とひこ星の間には**“天の川”**が流れているのですが、この日は半月が夜空を明るくしているため、ちょっと観にくいです。

さそり座や、春の三角形も残っているので、一等星の色や特色をご紹介します予定です。

(3)土星・・・8/28に地球に最も近づきます。

土星が観易い高度まで昇って来るのは遅い時間になりますが、今年もようやく土星の環が楽しめる期間に入ってきました。

※この夏休み期間中、月の観察をご予定でしたら、是非この日にお出かけ下さい
19:00には陽も沈むので、南の空に浮かぶ半月を望遠鏡で観察スタートします。



9/03(土)の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:19時半、月齢:17、月の出:20時 (観望推奨時間帯:19:30~20:00頃)

19時半には暗くなりますが、同時に月明りで空は白んでいます。

(1)夏の大三角。

この日、真上で輝いている3つの一等星を結ぶ直角三角形なのが“夏の大三角”です。一番明るいのが七夕のおり姫星、少し南よりに2番目に輝いているのがひこ星、もう一つははくちょう座の一等星デネブといます。今夜も、おり姫とひこ星の間には“天の川”がちゃんと流れているのですが、月明りがが夜空を薄っすら白くしているので、ちょっと観にくいです。

(2)土星・・・8/28に地球に最も近づきました。土星は今が見頃となって来ました。

20:30頃には、だいが高いところ迄昇って来ていますので、雲がなければ、あの土星の環を望遠鏡でお楽しみいただけます。

なお、今年木星はうお座、ナイトゴンドラが終了する頃、東の空から昇って来ます。

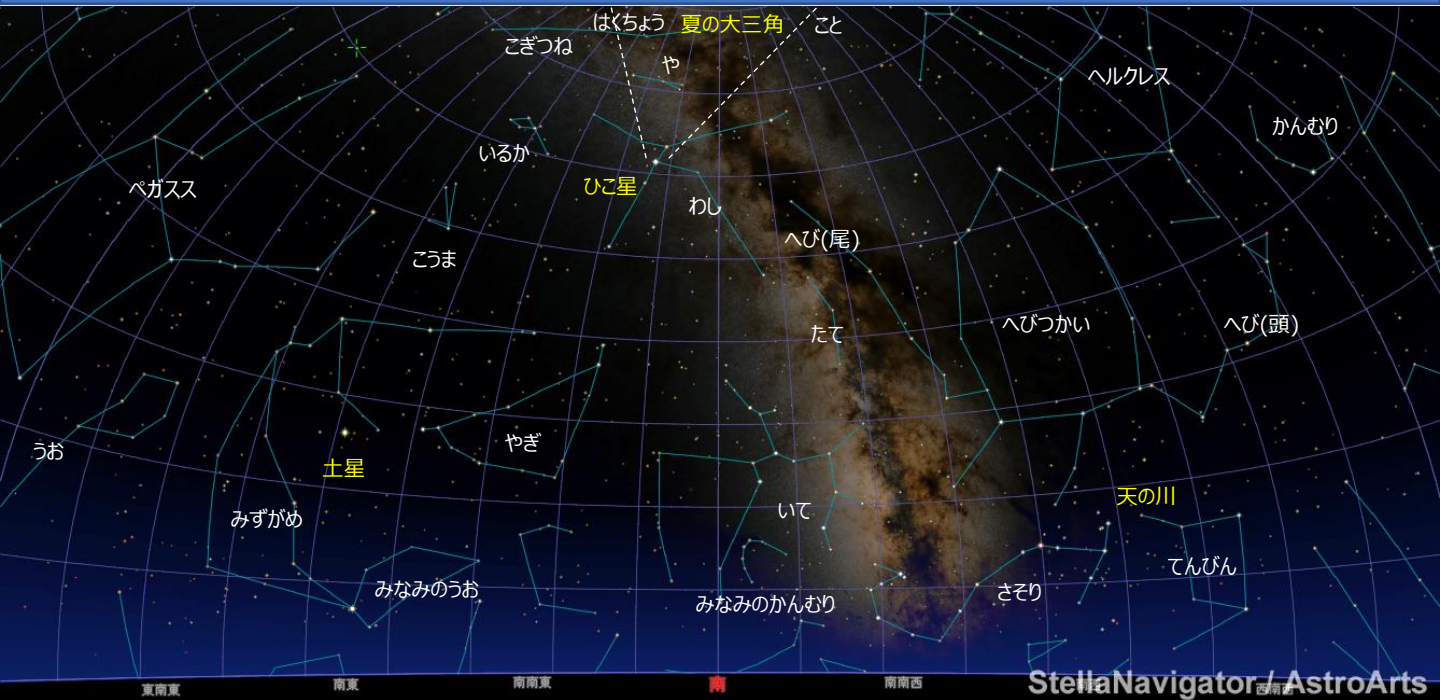
(3)月・・・満月を少し通り過ぎた月

8/31に満月を迎えた月が、20:30過ぎには姿を現します。望遠鏡でのぞくと、向かって右側の方が少し欠け始め、その境目に小さなニキビのような、クレーターが見えています。



※ 19:30~この日に見える星々や楽しみ方をプロジェクターでご案内します。

日没がだいぶ早くなって来ました。19:00位から見えて来た星からご案内していきます。



9/09(土)の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:19時半、月齢:24、月の出:翌0時、☞ **【観望最良時間帯:19:30~終了】**

(1)天の川・・・街の灯かりの少ない、山の上まで昇っていただいた方へのご褒美！

9/09の月齢は24、月の出は遅く、ナイトゴンドラ運行中は天の川を楽しめます。南西の空、**いて座方向から立ち昇る天の川**が20:00頃には見事に浮びあがって、天頂に昇った夏の大三角へ向かい、はくちょう座から北の空に流れます。

* 月の無い夜、双眼鏡でみると、天の川は小さな星の集まり！本当にキレイです！！

* また、天の川の中心方向にあたる**いて座方向**をみると、たくさんの星の集まりもみえます。

(2)夏の星座／秋の星座・・・天の川沿いは夏の星座、東の空には秋の星座

月のない夜には、少し控えめに輝く秋の星座も見つけやすくなります。

秋の星座では、エチオピア王家の神話が一大絵巻として繰り広げられます。

(3)土星・・・8/28に地球に最も近づきました。

今年の土星はみずがめ座に在り、9月には高度も高くなって来たので、観望の好機です。月を観る望遠鏡とは別の望遠鏡で、土星の環を楽しんでもらえるようにセットしています。

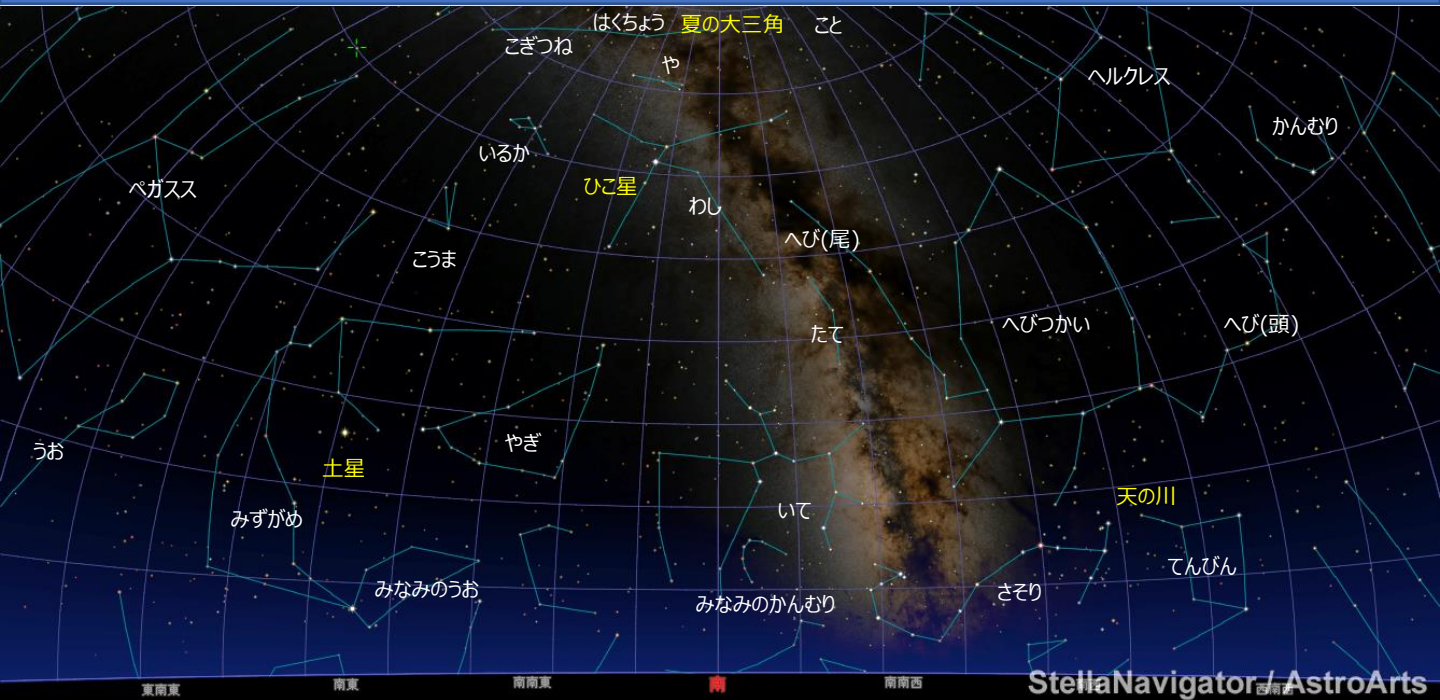
* 来年2024には土星の環が15年ぶりに消えて？しまいます。

※ 19:00～天の川はまだ見えて来ませんが、夏の星々からご紹介していきます。

19:30～この日に見える星々や楽しみ方をプロジェクターでご案内します。

20:00～暗くなるのを待って、星空ガイドをスタートします。

※ゴンドラ山頂は寒く感じられる季節です。暖かい格好でお出かけ下さい。



9/16(土).17(日)の星空・・・見どころ案内！

昼光終了:19時過、月齢:01-02、月の入:18時半、☾ **【観望最良時間帯:19:30~終了】**

(1)天の川・・・街の灯かりの少ない、山の上まで昇っていただいた方へのご褒美！

この両日は、月が早く沈み、19:00を過ぎれば、ずっと天の川を楽しめます。
南西の空、**いて座方向から立ち昇る天の川**が19:15分頃には見事に浮びあがって、
天頂に昇った夏の**大三角**へ向かい、**はくちょう座**から北の空に流れます。
* 月の無い夜、双眼鏡でみると、天の川は小さな星の集まり！本当にキレイです！！
* また、天の川の中心方向にあたる**いて座方向**をみると、たくさんの星の集まりもみえます。

(2)夏の星座／秋の星座・・・天の川沿いは夏の星座、東の空には秋の星座

月のない夜には、少し控えめに輝く秋の星座も見つけやすくなります。
秋の星座では、エチオピア王家の神話が「**一大星座絵巻**」として繰り広げられます。
・エチオピア王家 : アンドロメダ姫、カシオペヤ王妃、ケフェウス王
・正義の味方 : 勇者ペルセウス、空飛ぶ天馬ペガスス
・エチオピアを襲う: 化けじら、(海の王ポセイドン)

(3)土星・・・8/28に地球に最も近づきました。

今年の土星はみずがめ座に在り、9月には高度も高くなって来たので、観望の好機です。
月を観る望遠鏡とは別の望遠鏡で、土星の環を楽しんでもらえるようにセットしています。
* 来年2024には土星の環が15年ぶりに消えて？しまいます。

※ 19:00～早めにいらしたかたより、夏から秋の星座をご案内始めます。
19:30～この日に見える星々や楽しみ方をプロジェクターでご案内します。
20:00～暗くなるのを待って、星空ガイドをスタートします。

※ Gondola山頂は寒く感じられる季節です。暖かい格好でお出かけ下さい。



9/23(土)の星空・・・見どころ案内！

(1)月のクレーター・・・月の観察が一番おもしろいのは半月！ってご存知ですか？

9/03(土)の月齢は8(上弦の月)で、南西の空で西に沈んだ太陽に照らされています。太陽の光を浴びている部分と陰になっている部分の境目辺りのクレーター（凸凹）が浮き上がって見えます。(この凸凹は満月の時にはみえません！)

～19:30、20:00～の時間に、望遠鏡を使って月面をお楽しみいただきます。

19:30～の星空解説の時間には、月のクレーターについてのお話もする予定です。

(2)夏の大三角。

みなさんの真上で輝いている3つの一等星を結ぶ直角三角形がのが“夏の大三角”です。一番明るいのが七夕のおり姫星、少し南よりに2番目に輝いているのがひこ星、もう一つははくちょう座の一等星デネブといいます。今夜も、おり姫とひこ星の間には“天の川”がちゃんと流れているのですが、半月明りがが夜空を薄っすら白くしているのです、ちょっと観にくいです。

(3)土星・・・8/28に地球に最も近づきました。

傍に明るい月がありますが、9月に入り高度も高くなって来たので、観望の好機です。月を観る望遠鏡とは別の望遠鏡で、土星の環を楽しんでもらえるようにセットしています。

* 2024年には土星の環が15年ぶりに消えてしまいます。来年よりは今年がおススメ！

(4)木星・・・ハーブのコンサートが終わるころ、東の空に昇って来ます。

木星の衛星のうち4ケはとても大きく、キレイに並んで光っています。望遠鏡で観察します。

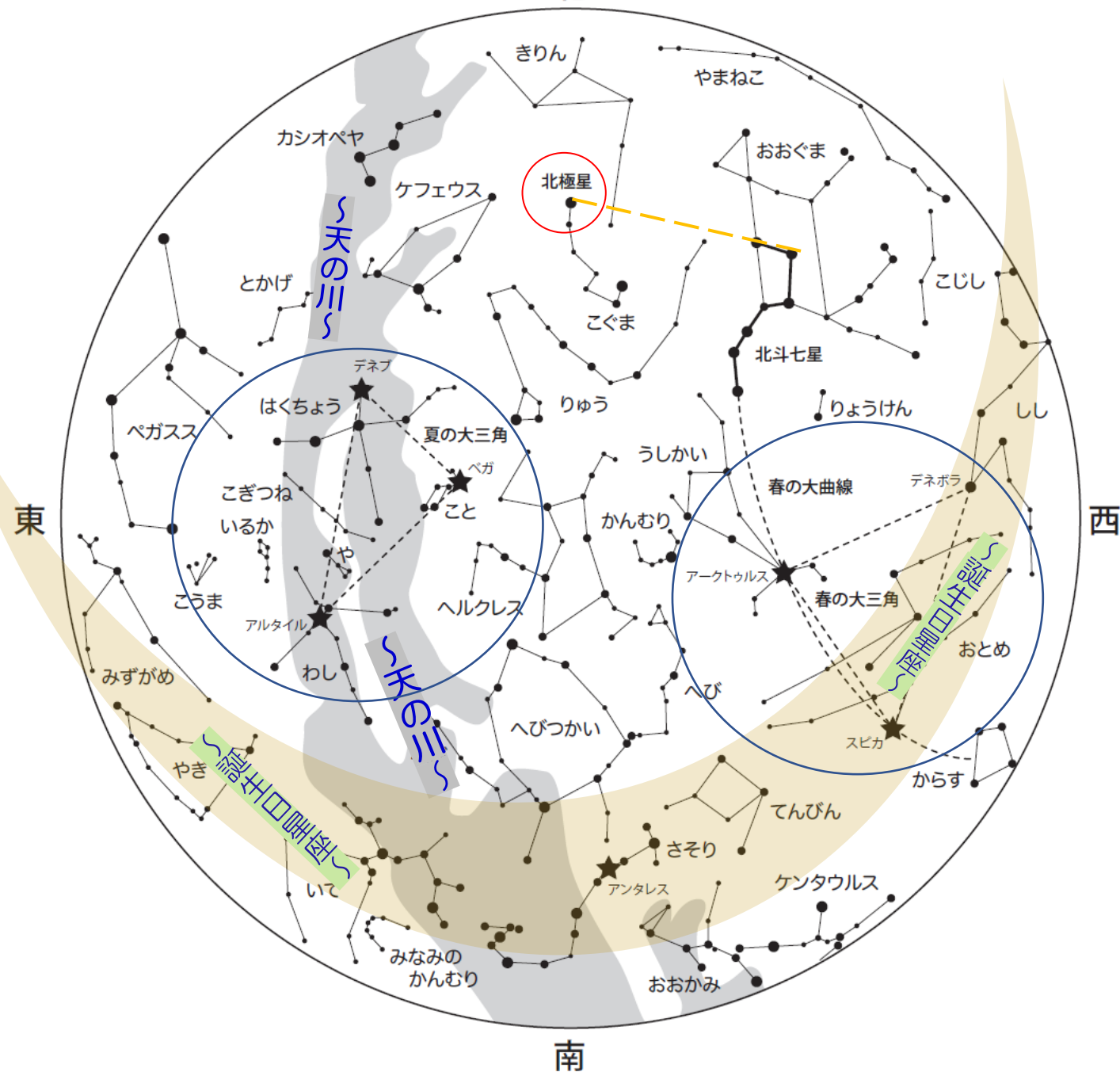
※ゴンドラ山頂は寒く感じられる季節です。暖かい格好でお出かけ下さい。

やまびこ駅からの星空 7月~8月の星座早見

7/29(土)の20:20頃の空、

8/05(土)の19:50頃の空

北

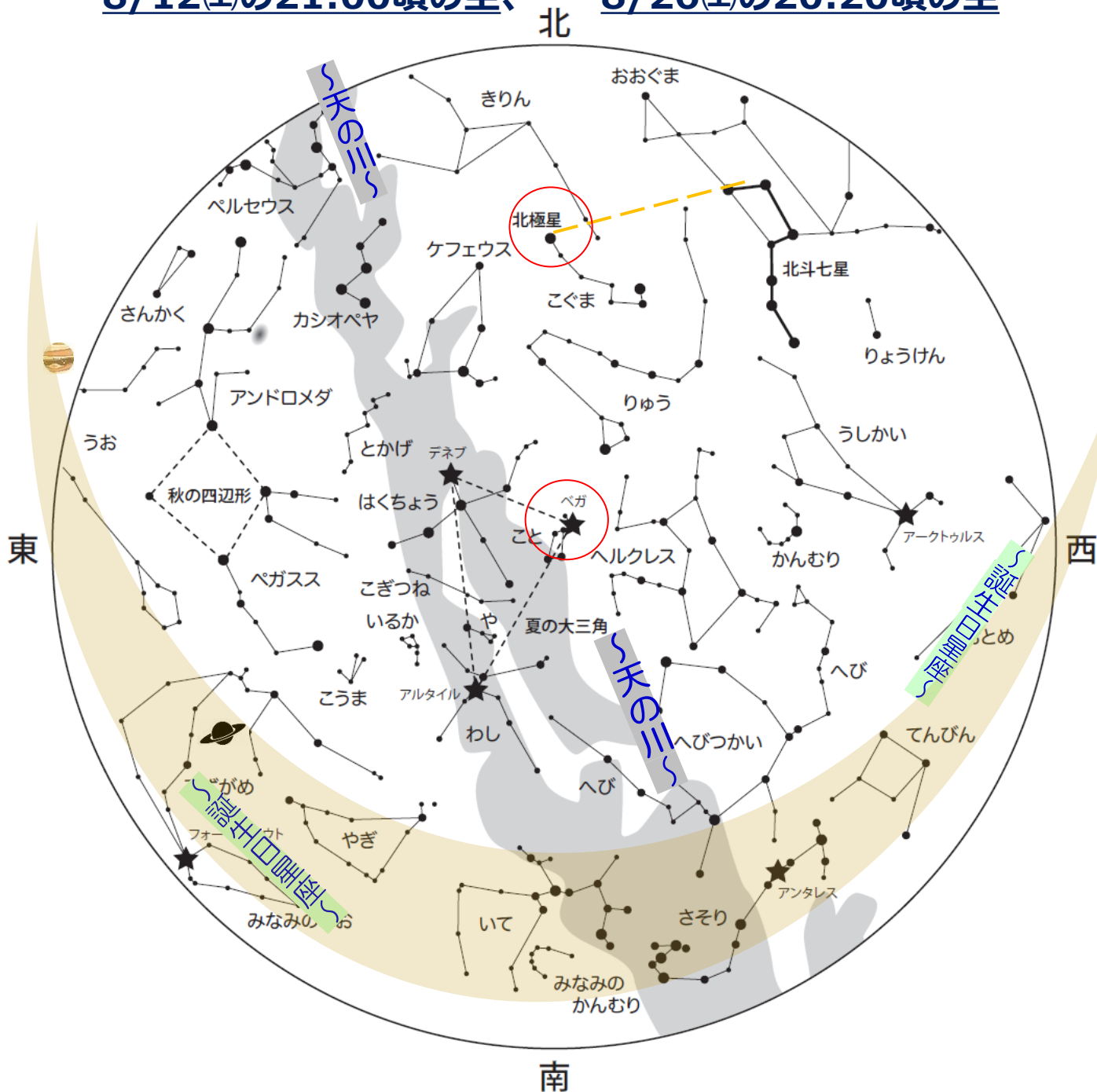


※見たい方角を下にして、頭の上にかざして下さい！

夏の前半は、天頂から西に“春の大三角”、東に“夏の大三角”
まだ陽が長いので、星々の見ごろは、20時過ぎになります。
19:30からは、星々の解説の時間も設けています。

8/12(土)の21:00頃の空、

8/26(土)の20:20頃の空



※見たい方角を下にして、頭の上にかざして下さい！

8月中旬になると、天頂にはこと座のベガ“織り姫星”が輝きます。
月明りの無い夜には、南のさそり座から頭上を通り、
北の空のカシオペヤへ流れる“天の川”がみごとです。